



COCO

Community & Cooperative

No.56

2023年6月30日

発行所 / COCO湘南
〒252-0804 藤沢市湘南台7-32-2
Tel:0466-46-4976
Fax:0466-42-5767
発行者 / 小川泰子

COCO湘南のHP



全ての「いのち」と 「地球」を守り切る！

NPO法人COCO湘南
理事長 小川泰子



私たちCOCO湘南の願い、それは「戦争のない社会」を次代につなぐことです。

2022年2月24日、世界中の市民が驚きとショックを受けた「ロシアによるウクライナ侵攻」。ネット社会でこのニュースは世界中の多くの人々が同時に知ることとなり、リアルタイムでその状況を映像で目にし、不安が広がっていきました。

「世界戦争にならないで！今すぐ終わって！！」

地球・市民のその願いは届かず、2023年6月現在も「戦争」は続いている。さらに、各国は戦争武器をロシア、ウクライナに送ることで、今や、間接的な世界戦争状況にもなっていると言えます。

当初、「数か月で終わるでしょう」と発言していた軍事評論家、ロシア関係専門家たちにも予測できない状況となり、2023年6月現在も未だ終わらない「戦争」。もう、他国の話ではなくなり、世界中にその影響は広がり、大国間の牽制に緊張が走る2023年です。

2019年に中国から発生した「新型コロナウイルス感染症」は4年目となり、これも専門家たちの想定を見事に裏切り、未だに終息せず、「withコロナ時代へ」と突入しました。

さらに、環境破壊による気候変動の影響は、一層深刻となり、地球は大洪水、森林火災等で、そこにあるあらゆる「いのち」が悲鳴を上げています。

私たち人間が起こしたこれらの厳しい地球の環境破壊と命の危険の中、戦争を経験し、平和であり続けることを願ってきた「戦後」を生きてきたグループプリビングCOCO湘南台の住民は、心から「戦後のままの平和な世界」を願っています。

だから、今だからこそ、グループプリビングで「世代をつなぐ共生社会」を！

第25回通常総会、NPO法人COCO湘南が誕生して25年。設立時には、こんな時代になるとは全く思っていなかったものです。今COCO湘南台に暮らす多くのみなさんは戦争を知っています。そして、戦後の中で自身の文化的生活を創造し、「自立と共生」を共通の価値として「住まいと住まい方」に日々挑戦しています。ここ（COCO湘南台）に住み暮らす人が日々魅力を増し、さらに生きる力を強めている日常生活を見ながら、やはり、施設ではなく「住まいと住まい方」の自主運営がいかに重要かを見るものです。

そこで、2023年度の事業活動を「グループプリビングの社会化」を中心に据えました。そのため取り組まなければならない課題は山積です。しかし、これらの課題もCOCO湘南台の住人全員参加で取組み、解決の答えを導き出したいと考えています。

どのような時代状況であっても「いのち」を中心に据え、共生社会を創造することの大切さを、発信し続けます。2023年度、さあ、前を向いて、GO！グループプリビング！！

第25回通常総会を開催しました。

NPO法人COCO湘南の「第25回通常総会」が5月28日(日)、COCO湘南台において開催されました。本人出席が14、委任状による出席が15の合計29で、正会員総数の過半数となり、本総会は有効に成立しました。最初に、2022年度に亡くなられた2人の居住者のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。続いて、小川泰子理事長による開会の挨拶がありました。立憲民主党の衆議院議員 阿部知子氏がご多忙のなか来賓の挨拶にかけつけてくださいました。第1号議案から第5号議案まで厳粛に審議され、満場一致で可決、承認されました。



理事長 小川泰子の挨拶



阿部知子氏 来賓挨拶



1 会員数 (3月31日現在)

	正会員		賛助会員	
	個人	団体	個人	団体
2021年度	43	4	38	4
2022年度	37	4	35	4

第24回総会時の「2021年度の会員数」に誤りがありましたので修正しています。

2 グループリビング入居状況

1) 生活者の状況 (3月31日現在)

	湘南台	備考
2021年度	8名	
2022年度	6名	居住期間平均7.3年
退去	2名	2022年7月、2023年2月
入居	0名	
平均年齢	84.7歳	最年少75歳 最年長91歳

ショート入居 2022年11月11日～2023年3月16日(1人)

2) 居住者ミーティングの開催

居住者による生活上の問題や行事についての話し合いの場として毎月定例で開催しました。

3) 地域交流事業の開催

新型コロナウイルス感染予防のため、COCO湘南台のアトリエを会場としたサロンコンサート等の地域交流事業の開催は困難でしたが、3月4日、ポンのり子さん作品展(ショート入居)が居住者主催で開催され、法人関係者、趣味の会関係者が参加しました。

居住者と地域の高齢者を対象に絵画、俳句、編物などの「趣味の会」が市民パートナーにより定期的に開催されました。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため8月、9月は中止)

4) 終活セミナーの開催

市民パートナー主催で9/29に増本敏子氏(弁護士)と河合直美氏(行政書士)を講師に迎え、終活座談会を開催しました。

法人主催で10/11に西澤優美氏(司法書士)を講師に迎え、資金管理勉強会を開催しました。

2022年度事業報告

5) 感染症対策の実施

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、対策マニュアル通り実施しました。

COCO湘南台出入りする介護事業所にも協力をお願いしました。

結果的にこれまで居住者のコロナ感染はありませんでした。

6) 環境整備について

快適で安全な住環境を保てるよう以下の改修工事を実施しました。

1. 2階防水工事、1階天井パネル張替、塗装工事完了(8/8)
2. 1階浴室のタイル修理(9/12,13)
3. 個室・共用部の排水溝の高圧洗浄実施(9/25)
4. 2E号室リフォーム工事(クロス張替、ハウスクリーニング)(12/19~23)
5. 湘南営繕による屋外大型給湯器交換工事(オーナー対応)(12/22)
6. 2階キッチン・ガスコンロ点検(12/22)
7. 2E号室エアコンクリーニング(営繕に再依頼)(1/11)
8. 井戸の水道蛇口破損(ひび割れ)→江野理事が修理(1/26)
9. 2階浴室ブラインド紐の破損→江野理事が修理(2/4)
10. 湘南営繕による2階浴室・床暖房用給湯器交換(オーナー対応)(2/8)
11. 1階洗濯機故障したため買い替え(3/7搬入)
12. 2B号室ハウスクリーニング(3/16)

3 理事会の開催

事業計画及び活動予算の執行に関する事項、日常業務に関する事項等法人運営に係る事項について以下のとおり理事会を計7回オンライン会議により開催し、審議しました。

6月21日第126回理事会

1. これからの事業についての提案
2. 定款申請について
3. 趣味の会の覚書について
4. 事務局の仕事の負担について
5. 湘南営繕の打ち合わせ
6. COCOちゃん(犬)の養育費について
7. JKAへの書類の対応
8. エレベーターの修繕について

9月7日第127回理事会

1. 雇用契約書更新について
2. 入居契約書の見直しについて
3. 寄付の報告
4. 定款変更の登記、市への報告が終了
5. 湘南営繕との打ち合わせ(大規模修繕)について
6. 居住者の健康づくりについて

12月6日第128回理事会

1. 会計業務の会計事務所への委託
2. 定款変更について
3. 湘南営繕との打ち合わせについて
4. COCO湘南パンフレットについて

2月20日第129回理事会

1. 今後の事業についての意見交換
2. 交通費について
3. COCO湘南パンフレットについて
4. ポンのり子さん展覧会について

3月31日第130回理事会

1. COCO湘南の今後の事業についての意見交換
2. 各種書類について(入居契約書・宿泊契約書等)
3. 建物修繕について
4. 湘南営繕の対応について

4月25日第131回理事会

1. 現状と課題についての意見交換
2. 中西茂雄高齢者福祉基金について

5月16日第132回理事会

1. 総会議案について

4 情報発信

1) 西條節子氏追悼集発行(6/20) 400部

配布先:会員、西條節子氏の関係者

2) 会報第55号・7月発行 500部

配布先:正会員、賛助会員、各市民センター、行政機関、関係団体等

内容:第24回通常総会の報告特集

3) ホームページによる発信

グループプリビング(以下、「GL」)に略)の暮らしの紹介とともに法人組織や活動に関する最新情報を提供しました。

5 COCO湘南見学会

GLの理解を深めてもらう目的でGLに興味がある方、将来の住まいの選択肢として知りたい方、設立を目指している方等を対象に見学者対応をおこないました。

見学者:大阪府1人、岡山県1人、カナダ1人、神奈川県1人

6 学生等の研修の受け入れ

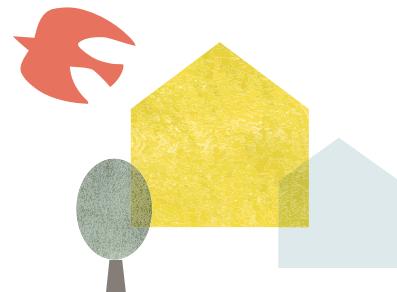
次世代を担う若者たちに「自立と共生」の暮らしを学んでもらう機会となるようCOCO湘南の講師による研修を例年COCO湘南台で開催していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、藤沢市立看護専門学校に講師が出ており、GLの紹介と講義を行いました。

9月16日

藤沢市立看護専門学校3年生 51名
講師:土井原理事

7 取材・調査協力

福山大学工学部の学部生のアンケート調査に協力しました。



2023年度NPO法人COCO湘南事業計画

実施計画

① 「COCO 湘南台暮らし安心体制づくり会議（仮称）」設置

1. 2022年2月12日にNPO法人COCO湘南設立者西條節子氏が93歳で他界されて一年が過ぎました。グループプリビングという新たな「住まい・住まい方」を社会化し、法人代表理事者であり、かつ居住者でもあったことで、グループプリビングの生活の質を当事者として「現場」でマネジメントしてきたことの意味、社会福祉サービスとグループプリビングとの連携のあり方等の課題が浮き彫りになりました。
2. 2022年12月27日に居住者条野仔至子さんが92歳で亡くなられました。ご本人が抱える医療ニーズから病院での最期となりました。愛するご弟妹に寄り添い看取られての「幸福な時間」の中で長い眠りにつかれました。こうしたCOCO湘南台の経験から、介護事業及び医療とグループプリビングの連携のあり方問題が浮き彫りになりました。
3. 1999年開設のグループプリビング COCO湘南台が設立当初考えていたことは、現在の社会状況、社会保障制度のあり方とマッチングしなくなっています。25年を迎える2023年度、その意味を「住まい方」として見直し、体制づくりに着手します。
4. 「食事」についての支援体制に取組みます。

② 国内外の住まい・住まい方を知る企画（当事者交流を中心に）

1. 多様な住まい事業の現状と課題を知る機会を創り、サロン形式で地域の人や外部の専門家の情報も共有できるようにし、多様な「当事者参加」の機会をつくります。（国内のグループプリビング関係者等を中心に）
2. 2021年度に出会ったデンマークの高齢者住宅等とのサロンを開催します。
3. グループプリビングを支えるコミュニティワーク形成の検討

③ 「これからのお住まい・住まい方を考える会（仮称）」の設置

1. 「おしゃべりサロン」「カルチャーサロン」等々、子ども、若者、子育て世代、高齢者等の「出会い」と「つながり」の機会をつくり、地域の心地よい自立（距離感）と共生を考え合います。
2. COCO湘南台の居住者の生活文化の地域への発信、及び地域住民や会員との交流の場づくりを再開します（コロナで中止していた）。
3. 高齢者とのコミュニケーションの価値を地域に伝えるとともに、若者、子どもへの生活技術・文化の継承を目指します。
4. これらの活動については中西茂雄高齢者福祉基金の助成金を申請する予定です。

④ 広報活動

1. NPO法人COCO湘南のパンフレットを刷新します。
2. ホームページ等のネット情報発信の充実をはかります。
3. 会報を年2回発行します。

⑤ 政策提言活動

今の日本社会が抱える「住宅問題」に対し、NPO法人COCO湘南の実践を踏まえ、社会への問題提起、政策提言等を行います。この取り組みは全国のグループプリビングとの連携をはかります。

⑥ 経営の安定

1. 入居状況の安定をはかります。そのための広報・営業活動を理事会議等で戦略化します。
2. 毎月の事業決算・外部監査を実施します。また、居住者への経営の透明性と説明責任を果たします。
3. 正副代表者及び事務局との情報共有をはかり、問題解決対応を迅速に行います。
4. 外部法人との事業連携の検討と実験的取組み
当法人理事者が経営する事業所との法人連携を検討し、当法人の事業経営の安定と居住者支援体制のためのネットワーク化を模索します。
5. 設備整備等修繕については（株）湘南營繕協会との協議で2023年度中に修繕計画を立案します。
6. 軽微な修繕はその都度迅速に取り組みます。
7. 新たな事業への取組みについて常に情報ネットワークを強化し、法人事業規模と経営の持続性のはかります。
8. 会員拡大を目標100名とします。

ポンのり子さんの 展覧会を開催しました。



3月4日、ポンのり子さんの展覧会が居住者主催で開催され、法人関係者、趣味の会関係者が参加しました。

ポンのり子さんは日本とメキシコを行き来しながら創作活動している陶壁画の芸術家です。昨年11月にふらりとCOCO湘南台にあらわれ、北海道の冬は寒いからと、その翌日から今年3月までショートステイし、その間に描かれた作品が展示されました。作品はメキシコの自然に宿る神々や精霊、妖怪たちなどがモチーフになっており、神秘的でたいへん素敵なものでした。ポンさんを囲んだ懇談会もおこなわれ、メキシコの話や国内で作品を鑑賞できる場所などが話題にあがりました。

新しい居住者の紹介



熊坂美冬さん (23歳)



波木敏子さん (87歳)

専門学校で造形を専攻し、3年ほど会社勤めをしておりました。この度、かねてより憧れていた先生の元で手づくりの人形製作技術を学びたいと思い、大叔母のなお子さんの部屋に住ませてもらうことになりました。

趣味はYouTubeを見ること、小さなおもちゃを集めることです。動画で色んな人の作品の制作過程を見たり、市販の玩具のパーツを参考にして新しい製作方法を発見したりするのが好きです。

いまや3Dプリンターやパソコンで簡単に物が作れる時代となりましたが、手作業の重要性は変わらないと考えています。

造形を、データ上ではなく、手作業を通して体験することは、物事の本質を理解するためにはとても大切なプロセスだと思っています。

今後は人形や彫刻などの造形を勉強し、自分の表現したいものが作れるように頑張ります。

何もかもが初めての体験で、ワクワクしています。皆さんとの交流もとても楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

7人きょうだいの5番目、四女として生まれました。ご近所に書道や合唱を教えて下さるところがあり、小学生から合唱団に入りました。NHKの合唱コンクールに出たこともあります。歌は大好きです。さだまさしを聴いたりしています。

入居のきっかけは、上野千鶴子著「おひとりさまの老後」に書いてあるCOCO湘南台の生活が自分にピッタリだと感じたこと。マンション型で同じような部屋が並んでいるところでは迷ってしまいそうだけれど、COCO湘南台は木造建築で温かみがあるところも良いと思いました。米寿までには終の棲家を見つけたいという願いが叶いました。

湘南台駅からCOCO湘南台へ向かう途中の植木屋さんも、たくさんの種類の草花があり、心惹かれました。挿し木をするのが得意です。お庭があるところも気に入りました。

～NPO会員の募集～きっと人それぞれに出来る大切な一歩があるはず！

COCO湘南の活動にいろいろなかたちでのご参加とご支援をお待ちしています。

●会員になってくださる方

正会員：個人入会金 ¥5,000 (年会費1口 ¥5,000)
団体入会金 ¥10,000(年会費1口 ¥10,000)

賛助会員：個人年会費 ¥2,000 (入会金なし)
団体年会費 ¥5,000 (入会金なし)

●ご寄付くださる方

COCO湘南の活動の費用など、資金面等で応援してくださる方

- ★特典 ①会報の送付
②サロンコンサートなど行事の案内
③ゲストルームの利用

高齢者グループプリビング普及活動 2022年8月～2023年5月

2月15日 カナダのトロントから見学者が来られました。

3月6日 相模原市の見学者が来られました。

3月2日 岡山から見学者が来られました。

編集後記

COCO湘南は開設して25年目を迎えた。最も長い人の居住期間は17年となりました。そして、この5月に入居した87歳と23歳の新しい居住者は、これまで迎えた居住者のなかで最も年長と最も年少です。COCO湘南のような協同住宅は居住者の顔ぶれによって雰囲気が変わってきます。23歳の若い女性が入ったことで、場が和やかになったと聞いています。25年の節目に高齢者の住まいから始まったCOCO湘南に若い女性が入ったことは、法人としての新たな展開や可能性の1つだと思います。

編集
小川泰子
土井原奈津江
森田いづみ